



令和8年3月2日
目黒区立田道保育園園長

3月の園だより

先日、3歳クラスがしめじをちぎり、4歳児クラスがピーラーを使い、人参や大根の皮をむき、5歳児クラスが包丁で切り、ちゃんこ鍋を作りました。5歳児クラスにリクエストで聞いた野菜、肉団子を入れ、塩味で味付けました。できあがると幼児クラスの異年齢の3人組となり、3クラス一緒にホールで食べました。初め的一声は、どの子も「おいしい」と笑顔で声が上がりました。「このちゃんこ汁を沢山食べて、相撲で勝つ」と声が聞かれました。先月末に2月場所の千秋楽を行いました。子どもたちは体いっぱいにつづかっています。勝って笑顔、負けて悔し涙の姿が見られましたが、負けた4歳児クラスの子は「くじらぐみになったら負けられない」と涙を拭き、来年度の相撲の取り組みに期待する姿が見られ、相撲を通して体だけでなく、心も育っているのだと実感しました。

先日卒園式の練習をホールで行いました。クラス担任が名前を呼ぶと「はい」と立ち上がり、少し緊張した様子で私の所まで歩いてきます。名前を呼ぶと真剣な表情で返事をし、証書を受け取ります。その姿は緊張しながらも大きく見えて、5歳児クラスの子どもたち一人ひとりの成長を感じ取る事ができました。卒園式では子どもたちの成長や友達との楽しい園生活の思い出を振り返ります。私たち職員も保護者の方と一緒に、5歳児クラスの旅立ちに大きな拍手とエールを送りたいと思います。

今月の予定

ひなまつり

卒園式

お楽しみ散歩（3、4、5歳児クラス）

お別れ遠足（5歳児クラス）

お別れ会

中旬

避難訓練 身体計測



<一年間の成長した子どもたちの様子>



「友達と一緒に成長した一年」

5歳児クラス

でんどうランドのお化け屋敷で、どんなおばけになって驚かそうか話し合いました。絵本に出てくるおばけや子どもたちが実際に行ったお化け屋敷を思い出して、どんなおばけを作るか友達と話し合いながらおばけの絵を描いてみることにしました。話し合いの中で「ここは〇〇だよ」と思いを強く主張していました。それを聞いていた友達が「そんな大きな声で言われたらびっくりするよ」と声をかけていました。「つい声が大きくなっちゃった。ごめん」と気づく姿や、友達の姿を見て「じゃあ皆がいいねってなるのを一緒に考えようよ」と友達の思いを汲み取ろうとするやりとりもあり、じっくり時間をかけて皆で話し合いをしていました。自分の意見だけを強く主張するだけでなく、友達の思いを聞いてみよう、どうやったら皆で楽しくできるか考えようとする姿にこの一年の成長を感じました。時には友達と意見が異なり言い合いになることもまだまだありますが、それでも「ここはいいけど、こっちは一人でやりたい」「こうしたいんだけどいい」など、互いの思いを受け止め、話し合う姿が増えてきました。たくさんの友達とぶつかって、話し合っただけでどうやったらうまくいくのか、どうやったら互いに納得できるのかなどを繰り返し、友達とだからできた、友達と遊ぶ楽しい経験をたくさん積み重ねた一年でした。



「楽しい遊び見つけた」 0歳児クラス

この一年でたくさんの“はじめて”を経験してきた子どもたちです。入園した頃は、緊張した表情でしたが、少しずつ園の生活にも慣れ今では毎日笑顔で入室してくれます。安心して過ごし、自分の好きな場所、玩具を探して遊ぶようにもなりました。カップにチェーンを入れて保育士が「もぐもぐおいしいね」と一緒に遊んでいると、その様子を見て、近くの友達と目を合わせ「もぐもぐ」とまねっこをしています。そのカップを「どうぞ」と友達に渡し「これたべて」と言っているかのようです。今度は保育士の口元にチェーンを運び、「ん(たべて)」と食べさせてくれたり、「おいしいね」と伝えると大満足の表情です。保育士と一緒に楽しく遊び、安心して自分のやりたい遊びを見つけていき、少しずつ周りの友達のことを気かけたり関わる姿が増えています。



「たのしいね」 1歳児クラス

4月当初は好きな遊びを一人でじっくり遊んでいた子どもたちが、今では、友達と保育士がお風呂ごっこをしていると、友達の隣にちょこんと座り、「ごちごち」と言い頭を洗ったり、「じゃー」とマルチパーツをシャワーに見立てて友達の頭を洗ったりしています。日々の生活の中で経験したことを再現して、保育士や友達と一緒に遊ぶようになってきました。別の場面では、友達が泣いていると、そばに来て頭を撫でたり、顔を覗き込んで「どうしたの」と心配そうに声をかけることもあります。友達の遊びを真似て一緒に遊ぼうとしたり、友達のことを気かける姿が増えてきて嬉しく思います。互いに顔を見合わせて笑顔がたくさん見られるようになり、保育士だけでなく、友達との関係も広がってきて“一緒に楽しい”と子どもたちの成長が感じられます。



「一緒に楽しい」

2歳児クラス

「先生一緒にこれやろう」と保育士と一緒に遊ぶ姿から、友達同士で遊ぶようになり、友達との輪が広がってきました。らっこ組になった頃は自分の気持ちを言葉にして表現できるようになるまでは、泣いたり、イヤイヤしたり、自己主張をしていた子どもたちですが、自分の思いをたくさん受け止めてもらい、認められた経験をたくさん積み重ねてきたことで少しずつ言葉で伝えられるようになってきました。ブロックで傘を作ってお出かけに行く友達の姿を見て、同じように傘を作りたくなった友だちがいました。「同じブロックがないな」と困っていると「〇〇ちゃんのあげるよ」と自分の持っていたブロックをあげていました。完成すると互いに顔を見合わせて笑い合いながら、一緒にお出かけに行き、楽しんでいます。まだまだ思いのぶつかり合いはありますが、好きな遊びを友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じ始めているらっこ組です。



「やってみよう」 3歳児クラス

園庭で風呂椅子を並べて一本橋を作っていると「入れて」と友達がやってきました。「いいよ」と返事をすると一緒に並べ長い一本橋ができていきます。それを見ていた別の子が「こうするのがいいんじゃない」と一本橋の隣にさらに椅子を並べ、どちらか好きな道を選ぶよう二本橋を作りました。「いいね」と言って3人で順番に渡っていきます。一番最後の風呂椅子は2つ重ね高くすると、「ジャンプ!」と言って嬉しそうに大きくジャンプをします。友達同士で作った二本橋を繰り返し渡って楽しんでいました。以前は一本橋を並べて渡ることだけを楽しんでいましたが、今は様々な道や仕掛けを作り少し難しいことにも挑戦する姿や、友達と一緒に1つのことを楽しむ姿が増えました。この一年間“やってみよう”“やってみよう”と思ったことを保育士や友達と一緒に楽しんできた日々の積み重ねが、今の成長した姿につながっているのだと感じます。



「負けるから嫌だ…」 4歳児クラス

2月場所から1週間ほど過ぎた時の勝負で、2人の力が拮抗し力いっぱい押し合っています。全力での勝負が3分以上続き疲れてきた友達が相撲を取り、「もう無理」と泣いてしまいました。声を出して泣きながら相撲を取り続け、土俵際に押されても押し返しています。相手も友達が泣き始めたことで最初は動揺しましたが、力を抜くことなく真剣です。5分以上すぎると最後は力尽き押し出されてしまいました。白熱した勝負は周りから拍手が起きました。でも負けた友達は「すもうなんかやりたくない」と大号泣していました。保育士と話をし、負けた悔しさに共感すると気持ちを立て直し次は頑張るという思いに変わりました。6月場所では負けてしまうと土俵に上がれなかった姿から、友達に対して「頑張ってたよ」「次勝てば大丈夫だよ」と励ます姿や自分の事だけでなく友達の気持ちに寄り添う姿も多く見られます。できないからやらないではなく、やってみようという一人ひとりの気持ちの成長と共に、友達との関わりも深まった1年となりました。